はなまき通検定

往来物（おうらいもの）

一般社団法人花巻観光協会

＝ は　じ　め　に ＝

『どなたも　どうか　お入りください。

決して　ご遠慮はありません。』

この往来物（テキスト）は、花巻市民の方々に花巻の歴史・文化・自然・先人などに関する知識を深め、花巻の良さを再認識していただくとともに、市民皆さんで観光客をおもてなしできるようにするために実施する「はなまき通検定」の参考書として作成したものである。

内容は、花巻に関する各分野の専門家に是非に知っておいた方がいいと思われる事柄を拾い集めていただいたものであるが、花巻の全てには、未完成の域を出ていないことを付け加えておく。

そのため、「なん～だ、こんなこと知ってる」から「エッ、これが花巻に？」というようなことがあるかも知れない。また、「なんか足りないのでは？」というところもあると思う。

皆さんに、楽しみながら学習する「楽習」気分で、花巻の知識度を高めていただきたいものである。

そして、気軽にこの検定に参加いただきたい。

平成２６年１２月１日
令和２年７月１６日改訂
令和２年１０月８日改訂
はなまき通検定「往来物」　発行元／花観堂

『だんなぁ、だんなぁ』　『おおぃ、おおぃ、ここだぞ、早く来ぃ。』

各個人の年表の年齢は、「満年齢」で表しているが、逝去時には満年齢に達していない場合は空欄となっている。

＝ 目　次 ＝

＜にぎわいイベント＞
SL 銀河　・・・・・・・・・・・　1
スポーツ　・・・・・・・・・・・　2
イベント　・・・・・・・・・・・　3

ＳＬ銀河

○ＳＬ銀河の出発

C58 形蒸気機関車（愛称/シゴハチ）は、地方線区の輸送力増強を目的として旅客・貨物列車をけん引する客貨両用機として造られた中型の SL で、少し小振りながらも貨物機の力強さと旅客機の軽快さを共存させた車体である。

今回復元している 239 号機は 1940 年(昭和 15 年)6 月に川崎車両で製造され、名古屋・奈良で活躍し、1972 年(昭和 47 年)に用途廃止となるまで、32 年間のうち 27 年間、宮古機関区を中心として岩手県内で活躍していた。

引退後、盛岡市青山 4 丁目の県営運動公園の交通公園に 1973 年(昭和 48 年)5 月 1 日から展示されました。約 40 年間市民や SL 等保存会、鉄道マンらの手によって良好な状態で保存されていた。それが「SL 銀河」として釜石線を中心とした東北エリアで復活活躍につながった。

2014 年(平成 26 年)4 月、JR 東日本では、東北地方に旅行されるお客さまに SL の旅を体験していただくことで、観光面からの復興支援及び地域の活性化を目的として C58　239 を復元した。

○SL 銀河の仕様

SL 車両は、機関車Ｃ５８　２３９号機、旅客車キハ 141 系を使用し、名称を SL 銀河とした。座席数は、4 両編成で定員 176 名である。

列車の外観や内部は、釜石線を舞台に描かれた宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を代表的なテーマとしてプロデュースし、宮沢賢治の世界観や空気感、生きた時代を共有する事で東北の「文化・自然・風景」を感じていただく空間となっている。

○機関車Ｃ５８　２３９号機ナンバープレートの記号

「Ｃ」＝動輪の数(Ｂ＝２対、Ｃ＝３対、Ｄ＝４対、Ｅ＝５対)

〔 動輪とは、機関車で動力を受けて回転し、列車を動かす車輪をいう。 〕

「５８」＝機関車のタイプ(石炭・水を積む場所)

１０～４９・・タンク機関車〔機関車本体に石炭と水を積んだ機関車。主に短距離運転〕

５０～９９・・テンダー機関車〔機関車本体とは別に炭水車(テンダー)を連結する機関車。主に長距離運転〕

「２３９」＝製造番号(Ｃ５８形で２３９番目の製造)

○SL 銀河が停車する駅名とエスペラント語の愛称

1995 年(平成 7 年)に JR 東日本釜石線は、地域密着型の鉄道路線として作っていくために、「銀河ドリームライン釜石線」という愛称をつけた。この愛称は、釜石線の前身である岩手軽便鉄道が宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」のモデルになっていることからきている。

この時に、全駅にエスペラント語の愛称がつけられた

駅 名	エスペラント語愛称	意　味	駅 名	エスペラント語愛称	意　味
花巻	チエルアルコ	虹	遠野	フォルクローロ	民話
新花巻	ステラーロ	星座	上有住	カベェルノ	洞窟
土沢	ブリラ リベーロ	光る川	陸中大橋	ミナージョ	鉱石
宮守	ガラクスィア カーヨ	銀河のﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	釜石	ラ オツェアーノ	大洋

参考資料　　ＪＲ東日本ＳＬ銀河情報、その他パンフレット

スポーツ

○花巻温泉野球場、陸上競技場

花巻の現運動施設、日居城野運動公園の前身は、同所にあった花巻温泉野球場と陸上競技場であり、昭和９年（1934）６月に完成したものである。

昭和初期、国内では野球・陸上競技を中心に年々スポーツ熱が高まっていたが、岩手県はスポーツ施設がほとんどなく、選手が育たないことから、岩手県勢の成績は振るわなかった。

そんなとき、花巻温泉と花巻電鉄がスポーツ施設造りの用地として日居城野（現松園町）用地を提供したことから、７千人を収容できる「県下一の野球場」が造られた。花巻のこの施設は、県中央部に位置し交通の便が良いこと、花巻電鉄が「花巻グラウンド駅」を設けたため、大勢の観客が押し寄せるところとなった。

この施設を活用することにより、野球の県予選やプロ野球の試合、陸上の東北大会など大きな大会が多数開催され、東北有数の競技場として栄えた。

○いわて国体・いわて大会

２０１６年に岩手県で第７１回国民体育大会「希望郷いわて国体」が開催される。花巻市では正式競技６競技、特別競技１競技、公開競技２競技、デモンストレーションスポーツ１競技、冬季開催競技１競技の計 11 競技が行われる。また、第１６回全国障がい者スポーツ大会「希望郷いわて大会」も開催され、花巻市では３競技行われる。

- 国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的としている。
- 障がい者スポーツ大会は、障がいのある方が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある方の社会参加の推進に寄与することを目的としている。

いわて国体（花巻市開催競技）

＜正式競技＞サッカー・ボート・バレーボール・ハンドボール・ソフトボール・クレー射撃
＜特別競技＞高等学校硬式野球
＜公開競技＞綱引・ゲートボール
＜デモンストレーションスポーツ＞リレーション３（３人で行うゲートボール）
＜冬季開催競技＞アイスホッケー

いわて大会（花巻市開催競技）

＜正式競技＞ソフトボール・フットベース・バレーボール

○長靴アイスホッケー

長靴アイスホッケーなる競技が、花巻で行われていることを御存じだろうか？

長靴アイスホッケーとは、冬期間積極的に戸外で体力づくりに取り組んでいただけるよう、

アイスホッケー競技のルールを簡易化し、気軽に親しみ楽しめるゲームとして北海道釧路で生まれたスポーツ。

あまり知られていないが、花巻でも石鳥谷地区を中心に冬期間行われており、毎年２～３月に石鳥谷アイスアリーナで大会が開催されている。現在、石鳥谷・大迫・花巻の各地区や盛岡などから多数のチームが参加している。

アイスホッケーと大きく違う点は、

・スケート靴ではなく長靴（ゴム底のもの）を履いてプレーする。

・ボールは、パックではなくノーパンクボールを使用。（当たっても痛くない）

など、気軽に楽しめる競技となっている。

参考資料　　「花巻市　いわて国体パンフレット」「長靴アイスホッケールールブック」

にぎわいイベント

イベント

ここでは主に毎年定期的に開催されている祭りやイベントを簡単に紹介する。（都合により変更される場合あり。）

１月

２日　胡四王蘇民祭（胡四王神社、市指定無形民俗文化財）

２日　大償神楽　舞初め

３日　岳神楽　舞初め

旧暦正月７日　五大尊蘇民祭（光勝寺、市指定無形民俗文化財）

２月

11 日　わんこそば全日本大会(花巻市文化会館)

毎年２月 11 日に開催。わんこそばを制限時間内に何杯食べられるか競う。

11 日　たろし滝測定会(葛丸川渓流)

沢水が凍りついてできる大氷柱の太さで、その年の作柄を占う。

２月中旬～３月上旬　八日市ひなまつり(八日市いきいき交流館)

手づくりのつるし雛が所狭しと会場を埋め尽くす。手芸作品なども展示される。

２月下旬～３月上旬　おおはさま宿場の雛まつり(大迫町内)

町内の商店や民家を巡りながら、代々受け継がれている豪華な雛人形が見られる。

３月

17 日　早池峰神社蘇民祭(早池峰神社)

４月

29 日　大沢温泉金勢まつり(大沢温泉)

金勢様をみこし型にかつぎ、露天風呂で１年のほこりを洗うユーモラスな祭り。

５月

ゴールデンウィーク　全国泣き相撲大会(成島三熊野神社)

数え年２歳の子供による泣いたら負けの勝負。参加豆力士は毎年 1,000 名を超える。

１５日　高村祭(高村山荘)

高村光太郎が花巻に向けて疎開した日に、山荘詩碑前で詩の朗読等が開催される。

６月

第２日曜日　早池峰山山開き(早池峰山)

山開きの神事。山頂の早池峰神社の奥宮では早池峰神楽権現舞が奉納される。

６月中旬　南部杜氏の里まつり(石鳥谷生涯学習会館)

「南部杜氏」発祥の地を会場に、花巻ならではのお酒を心ゆくまで楽しむ。

６月中旬～７月上旬　バラまつり(花巻温泉バラ園)

約 450 種、6000 株あまりのバラが咲き誇り、様々なイベントが開催される。

７月

最終土日　田瀬湖湖水まつり(田瀬湖)

湖面に映える水中花火、ウォータースポーツフェスティバルも開催される。

８月

１日　早池峰神社例大祭

８月上旬　イーハトーブ音楽祭(なはんプラザ)

花巻の風土やロケーションに調和する“音楽パフォーマンス”による音楽祭。

６日～７日　土沢七夕まつり(土沢商店街)

大正時代からの祭。鼓笛隊パレードや出店、「絵とうろうまつり」も同時開催。

13 日　石鳥谷夢まつり(大正橋公園石鳥谷水辺プラザ)

未来へ夢を託す花火大会をメインに、アトラクションなども開催される。

14 日・16 日　あんどんまつり(大迫町内)

武者絵や仏画を施した高さ 5mを超える迫力満点のあんどん山車が練り歩く。

８月下旬　イーハトーブフォーラム(北上川河川敷ほか)

光と音のページェント(花火)やツーデーマーチ(ウォーキングイベント)が行われる。

９月

８日～10 日　石鳥谷まつり(石鳥谷町内)

南部風流山車が目抜き通りを練り歩き、手踊りや民俗芸能、樽神輿が繰り出す。

第２土曜を中日とする３日間　花巻まつり(花巻市内)

風流山車、神輿、鹿踊・神楽権現舞、花巻ばやし踊りなど、花巻を代表する祭り。

９月中旬　土沢まつり(土沢商店街)

鏑八幡(かぶらはちまん)神社の例祭。豪華な山車や小学生の奉納相撲大会、伝統芸能も開催される。

９月中旬　大償神社例大祭

第３日曜日　おおはさまワインまつり(大迫町内ぶどうの丘)

早池峰神楽やワイン娘のぶどう踏み、ステージイベントなどが繰り広げられる。

21 日　賢治祭(けんじさい)(桜町雨ニモマケズ詩碑)

宮沢賢治の命日。賢治作品の朗読や演劇などさまざまなイベントが行われる。

10 月

初旬　賢治葛丸祭(葛丸ダム)

葛丸湖畔の賢治歌碑前にて、宮沢賢治作品の朗読、野外劇、合唱などを開催。

11 月

23日　倉沢人形歌舞伎(倉沢人形歌舞伎伝承館)

100年以上の歴史を持つ人形芝居、歌舞伎や浄瑠璃の演目を上演する。

12月

第３日曜日　大償神楽　舞納め

17日　　岳神楽　舞納め

協力(敬称略)
(一財)花巻高村光太郎記念会
㈱エーデルワイン
南部杜氏伝承館
花巻市観光課
花巻市文化財課
花巻市博物館
花巻新渡戸記念館
宮沢賢治記念館
萬鉄五郎記念美術館
花巻おもてなし観光ガイドの会

＝ あ　と　が　き ＝

どっどど　どどうど　どどうど　どどう
青いくるみも吹きとばせ　すっぱいかりんも吹きとばせ　『あいつは風の又三郎だぞ。』
「はなまき通検定」の参考書として編集したこの往来物（テキスト）は、皆さんの花巻の知識度を高めることと検定意欲の盛り上げに役立ったでしょうか？
既刊のテキストに新たに追加した内容もあるが、十分なものであるならば幸せである。
この往来物を基に検定問題作成班は新鮮な問題や難問（？）作成に向かっていく。
皆さんは、ジブンヲカンジョウニ入レズニ　ヨクミキキシワカリ
どっどど　どどうどと解答して欲しい。
・・・